



楽しく健康づくり、笑顔づくり ～高齢者スポーツ大会鷺泊会場～

議会だより



定例会9月会議

各条例の一部改正、一般会計予算審議等
..... 2

3名の議員が一般質問
..... 3～5

行政報告
利尻空港の利用状況についてなど 4件 ... 6

平成26年度各会計決算を認定
..... 6～8

定例会10月会議・11月会議

工事請負契約、人事案件及び議会構成
..... 9

平成27年12月

NO 169

定例会9月会議

定例会9月会議は、9月17日、18日の2日間開催されました。

本会議では、町長から条例の一部改正、一般会計補正予算などが提案され、慎重な審議の結果、原案どおり可決しました。

また、平成26年度各会計歳入歳出決算の認定が提案され、議長及び議会選出監査委員を除く議員全員による決算審査特別委員会（安楽昌弘委員長）を設置し審査しました。

条例改正

▽利尻富士町手数料条例の一部改正について
〔改正点〕

・10月5日から施行される社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、マイナンバーが通知される「通知カード」の再交付手数料の規定を追加など
・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、平成28年1月1日から交付される「個人番号カード」の再交付手数料を1枚につき800円と定めるなど。

原案可決

質疑

長岡議員 個人番号カードの再交付をする際に必要となる身分証明証は運転免許証の他に何が使えるのか。
福祉課長補佐 本人確認書類であれば健康保険証でも構いません。

伊藤議員 最初に交付される個人番号カードは無料ということだが、このカードには写真がついているのか。

また、どのように写真をつけるのか。

福祉課長補佐 最初の交付も再交付も写真付きとなっており、個人番号カードの交付申請をするときに写真を入れて申請をします。

その他

▽北海道市町村総合事務組合規約の変更について
〔変更内容〕
構成町村等の変更による規約の変更。

原案可決

▽北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
〔変更内容〕
構成町村等の変更による規約の変更。

原案可決

▽北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
〔変更内容〕
構成町村等の変更による規約の変更。

原案可決

補正予算

▽平成27年度利尻富士町一般会計補正予算（第3号）
〔補正内容〕

補正額6,701万2千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ41億3,629万円とする。

原案可決

質疑

●公共土木施設災害復旧費について

伊藤議員 公共土木施設災害復旧費負担金に60,836千円とあるが、総事業費における割合はどのくらいなのか。

産業振興課長 総事業費304,179千円の負担率が20%です。

再質問 これは災害だが一般事業費直轄事業の割合と同じか。

産業振興課長 通常負担率とは違い20%となっています。

●国勢調査について

長岡議員 国勢調査の調査員の公表はするのか。

総務課長 公表はしない予定です。

再質問 無いとは思いますが、身分証明証を偽造し調査員

になりすまして個人情報漏洩するという可能性もあると思うので、調査員の公表が必要ではないか。

総務課長 各調査区を今まで担当している統計調査員や町職員がまわっています。が、これから公表すべきだというのがあれば検討をしなければならぬと思っております。

報告

▽平成26年度利尻富士町一般会計及び特別会計決算に基づき健全化判断比率及び資金不足比率が町長から報告されました。

意見書

※次の意見書は、定例会9月会議で原案のとおり可決し、関係行政庁へ送付しました。

◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

◎北海道の広域性・自然条件に見合ったへき地級地運賃を求める意見書

定例会9月会議 一般質問

9月18日開催の定例会9月会議における、3名の一般質問の要旨をお知らせします。

鬼脇地区の園地整備等について



飯田 睦穂 議員

飯田議員 本年度より、鬼脇地区に小中併置校が調査・設計を含め、着手されます。本年6月には、概略事業行程についても報告を受けており、平成30年度の供用開始を心待ちにしていると聞いております。

完成後の周辺一帯は、新築となった校舎、保育所、郷土資料館、パークゴルフ場、駐在所、郵便局、役場支所、公民館まで含めると、非常に大きな施設環境が充実されます。こうした中、鬼脇地区には遊園地的な屋外の公園施設がないのが実情です。保育所園庭に若干の遊具はありますが、幼児から児童・生徒まで幅広い年齢層に対応し、充実したものであるとは言えません。

このため、校舎等子供たちの教育環境が一新されるのをきっかけに、子育て中の親同士や高齢者、子供達まで広く交流でき、互いに学びあえる場とした休憩施設等を含め、様々な機能を有する園地整備を進めるべきと思われまます。また、室内施設として屋外での活動を補完し、冬期間の交流の場として、現在の「北のしーま」の未利用スペースを有効活用することで、施設利用の相乗効果も図られることも期待できると思われまます。今、人口減少問題を抱える中で、鬼脇地区の子育て環境の充実と子供たちが伸び伸びと活動できる場の確保、世代間交流の場とした地区の空間づくりを通じて住みやすいまちづくりと安心して暮らせる地域づくりと

必要なと考
えますが、町長の所信を伺います。

町長 鬼脇地区の公園が充実したものではありません。とはご指摘のとおりだと思います。現在、鬼脇地区の小中学校が併置校改築に向けて事業着手しておりますので、これを機会に当然校舎周辺の環境整備もなされることですから、園地整備の内容を検討しながら進めてまいります。

北のしーまの未利用スペースの活用については、私も懸念しているところであり、もちろん冬期間の交流の場としての活用も一つかと思いますが、幅広く意見を聞かせてもらいながら検討をしてまいります。また、7月に組織再編された鬼脇街づくり推進委員会にも園地整備も含め問いかけながら整備を進めてまいります。**再質問** 園地整備については出来るだけ良い形で

早くまとまって実現されることを私も期待しております。

北のしーまにつきましては、冬期間の遊び場を用意するとなれば当然親御さんもついてきますし、子どもが汗をかいた後に温泉に入ることにも繋がるとも思われまます。そういった点にも着眼しながら進めて頂きたいと思われまますし、何人かの保育所の親御さんに私が聞いたところ、非常に期待をしているというところであります。ぜひとも積極的な取組をお願いしたいと思います。

町長 7月に開催された鬼脇街づくり推進委員会の総会に私も出席させて頂き色々な話を交えながら、若い人たちが積極的に会議等を随時開くと聞いておりますので、その中で北のしーまの利用につながる相乗効果が現れるようなイベントやスペースの利用を考えてもらえればと思っております。

小中高のいじめ問題について



安楽昌弘 議員

安楽議員 いじめは全国どこでも起こり得るものであります。全国のいじめによる自殺者は、2013年は小中高あわせて9人であったと昨年10月の新聞報道にもあり、なぜ一部の学校で自殺という悲しい結末に至ってしまうのか考えさせられる問題だと思えます。

4年前の天津市立中学2年の男子生徒が自殺した件や、今回の岩手市立中学2年の男子生徒が、いじめが原因で死亡した件についても、ただ「対岸の火事」として見過ごすことなく、私共教育関係者すべてが共通認識として受け止める必要があるのではないかと思われ

ます。

新聞報道の気になる記事として、教育現場でいじめが発覚しても自分たちの評価に傷がつくのを気にして、隠ぺいするという行為が潜在しているというところが、今回の岩手市立中学の件でも領けるような新聞報道がありました。先生と生徒間の「生活記録ノート」があり、男子生徒がいじめに関する切ない胸の内を何度も記録しているのに対し、先生からの助言は一度もなしという行為はまさに「隠ぺい行為」と考えざるを得ないと思えます。

我が町には、このような「隠ぺい」という行為は絶対にないと信じておられますが、全国的な一般論として、また客観的な見地から日本全体の中において、このような行為がどこかに潜在している

と認識されているのか、またこの問題についての本町教育行政の捉え方について、どのように考えているかお聞きします。

また、利尻富士町教育委員会点検・評価報告書（平成25年12月発行）によると、いじめや不登校対策の取組状況・評価と今後の課題等が列挙されている中で、「早期解決に向けた取り組みを継続している」との記載は、何件かの事例があつて早期解決に至ったものもあると理解すべきか、教育長の所信を伺います。

教育長 文部科学省が行った平成25年度の問題行動調査では全国の小中高と特別支援学校で認知されたいじめの件数は18万5,860件、前年度より1万2千件あまり減少したものの、依然として多くのいじめが認識されております。このような結果からも、学校及び教職員はいじめの芽はどの生徒にも生じるといふ緊

張感を持ち、いじめが生じた際には学級担任等の特定の教員が抱え込むことなく学校全体で組織的に対応し、教職員間の緊密な情報交換や共通理解を図り、当該児童生徒を徹底して守り通す責務を有しております。また、いじめの認知件数が学校評価と教職員の勤勉手当や昇給における給与決定手続きの協定判定にすぎきではないと考えておりますので、保身を図るための隠蔽行為をする必要はないものと思っております。

次に利尻富士町教育委員会点検評価報告書に記載のいじめや不登校対策の評価と今後の課題であります。道教委では6月と11月の年2回、いじめ把握のアンケート調査を実施しております。本町については数人がいじめられていると答えていることから、問題が小さなうちに芽を摘み、悪化するのを未然に防ぎ、早期

解決に向つたものも含め問題の早期発見、早期対応、早期解決に向けた取組をしていると記載したところであります。

また、国の定めるいじめ防止推進法や北海道いじめの防止等に関する条例に則り、各学校ではいじめ防止基本方針を定め、校長を委員長とするいじめ防止委員会を組織し、いじめが認識された場合は適切かつ迅速に対応することとしております。

再質問 答弁の隠蔽する必要がないというのは原則論であり、新聞では隠蔽していると報道されています。我が町では無いと思いますが教育長の認識を伺いたい。

教育長 全国的にどうかというのは分かりかねますが、どの学校においても先生方をはじめ地域の方も子どもたちを安全に育てようと考えているわけですから、隠蔽する体質があるかといえれば私は無いと信じていると思えます。

マイナンバー制度について



米谷 篤 議員

米谷議員 8月26日発行の「お知らせ利尻富士」第460号において、マイナンバーについての説明がありました。

その内容は、マイナンバーとは、マイナンバーの必要な場面は、マイナンバーの受け取り、個人番号カードとは、という項目で構成されており、紙面の関係でこの要点での記載となったと思われる、詳しくは役場担当にお問合せ下さいとの内容でありました。

新聞やテレビの報道等で、このマイナンバーという言葉の認知は広まっているとは思われますが、マイナンバー制度を悪用した特殊詐欺など制度の

スタートに便乗した新たな詐欺の広がりも懸念されています。

来年1月からの運用について、本町町民の利便性に即した制度への理解がまだまだ不十分であると認識しますし、個人情報報漏えいや個人番号カードの取扱いに不安な方もいると思います。

これから予定されているであろう地域懇談会等を利用して、この制度についての説明や注意点など、町民生活に不安を与えることのないような対策等が必要であると思われ、町長の所信を伺います。

町長 マイナンバーは平成27年10月から日本国民に通知される12桁の番号ですが、本町では11月11日から24日の2週間の間に簡易書留において各世帯主へ通知カードが送付される予定となっております。

ます。

来年1月からの運用開始に伴い、個人情報漏洩や他人にマイナンバーを使われるなりすまし被害にあつたらどうするのか、プライバシーは守られるのかといった不安に思う方々もいると思いますが、国はマイナンバーの収集保管を禁止し、なりすまし防止のためにマイナンバーを収集する際には本人確認を義務付けております。更にマイナンバーが適切に管理されているかは特定個人情報委員会という第三者機関が監視監督することになっており、システム面においても個人情報従来どおりとし、年金情報は年金事務所、税の情報は税務署で分散管理することで芋づる式の情報漏洩を防ぐということがあります。

制度を悪用した詐欺の広がりについては、マイナンバーをかたり、預金口座番号を聞き出そうとする不審な電話や訪問があつたとの相談が各地で寄せられているので関係機関は注意を呼びかけております。

しかしながら、町民に少なからず不安な方々もいると思しますので、町としてはお知らせ利尻富士やIP告知端末、ホームページ、地域懇談会や各会議を利用して仕組みや安全管理について注意点を説明し、町民の不安解消を図りたいと思っております。

あつたとの相談が各地で寄せられているので関係機関は注意を呼びかけております。

ることになっており、通常の場合は不在通知を郵便局に持って行くと交換出来ませんが、このマイナンバーについては不在通知から2日程度に郵便局で再配達をすることになっております。

最終的に不在通知をいれてから1週間様子をみて、それでも連絡が無い場合は転送不要となりますので、町で受け取ることになっております。

再質問 住民からマイナンバー制度について問い合わせは何件あつたのか。また、受け取り拒否された場合はどのようなものか。

再々質問 11月に送付されてくる通知を受け取り、1月に個人番号カードを発行しない場合はどのようなものか。

町長 カードを発行してもらわなくてもいいかの違いです。発行してもらった場合は、11月に送られた通知の中に申請書が同封されていますので、それを郵送で申請することになります。

福祉課長 住民の方から1件の問い合わせがありました。受け取り拒否については国も町もそうなのですけれども、あまり想定はしておりません。

ただ、何かの事情で郵便局の方が配達に行つたときに不在の場合は、不在通知を郵便受けに入れ

行政報告

◎利尻空港の利用状況について

・ANA（利尻千歳間の往復搭乗客数）

6月4,618人、搭乗率67.9%。7月5,705人、搭乗率75.5%。8月5,225人、搭乗率69.1%。

・HAC（利尻丘珠間の往復搭乗客数）

6月1,410人、搭乗率67.5%。7月1,587人、搭乗率73.5%。8月1,623人、搭乗率79.1%。

※議会資料より抜粋。

◎平成27年度普通地方交付税額の確定について

普通地方交付税の決定額は20億9,817万7千円で対前年度よりも8,499万2千円、4.2%の増となりました。

◎利尻山岳大使の任命について

平成27年7月25日に山岳イベント第1弾として大使任命式とスライド&トークショーを行い、札幌在住の

佐々木大輔氏を利尻山岳大使に任命しました。佐々木大輔氏は38歳で2年前のNHKで全国放送された雄志志内沢厳冬滑降された方で、国際的にも知られており利尻山に魅了され何度となく訪れております。今年度は山岳大使とともに4回のイベントを企画しており、第2弾として9月6日に利尻山登山を実施しました。第3弾は11月8日に札幌市でPRイベントを行い、第4弾は来年3月11日から13日に山岳大使とバックカントリートアーを予定しており、世界にも情報発信する予定であります。

◎利尻漁業協同組合との災害協定について

平成27年8月12日に利尻漁業協同組合と災害協定を締結しました。内容は災害発生時に燃料・ガソリン・灯油・軽油・重油や食料飲料水などの物資が必要となったときに、可能な範囲で町に優先的に供給し、災害対策業務を円滑に遂行するための協定であります。

平成26年度決算 決算審査特別委員会

平成26年度各会計決算審査特別委員会において、付託された全11会計の決算を審査し、9月会議において認定しました。

決算の概要については、町発行「広報りしり富士」平成28年新年号No.234の4〜5ページに特集されていますので、議会広報では質疑のみを掲載します。

質疑

一般会計

〔総務費〕

●地域おこし協力隊事業

戸嶋委員 平成26年10月に採用されて辞めたという話を聞いたが、その経過と今後の方針を教えてください。

総務課長 昨年、1名の女性を採用されましたが5ヶ月間で退職されましたので現在はおりません。活動内容ですが、フェイスペインク等による情報発信、ご当地グルメメニューによる地域づくり、商工会青年部主催の島婚イベントの参加、東京都でのアイランダーへ参加をし利尻富士町PR、利尻漁協の販売促進活動など実施しております。

を行っております。その成果については2品を講師の方と経営者に調理して頂きました。今後は利尻島でしか味わえない地元食材を加工し、お土産商品の商品化など、ご当地グルメの継続した提案を頂くことにしております。

再質問 今後も事業を継続的に行っていくべきだと考

えるが、どのように考えているのか。

総務課長 平成27年度の地方創生事業でも引き続きご当地グルメ事業を継続してまいります。

●企画調整一般経費

飯田委員 地域づくりアドバイザー推進事業に26千円が計上されているが、事業の具体的な取組や結果があれば教えてください。

総務課長 昨年、札幌市内で割烹料理店を営んでいる利尻富士町出身の方を講師に招き、地域産品を活用した新たなご当地グルメ開発事業として町内の飲食店、宿泊施設の若手経営者に集まって頂き、試作品の研究

●総合交流促進施設管理費

飯田委員 北のしーまの需用費で不要額が936千円ある要因を教えてください。

鬼脇支所長 主な要因は燃料費の1リッター当たりの単価を当初は116円と見込んでいましたが、徐々に下がり20円ほど値下がりをしたことです。

〔民生費〕

●社会福祉一般経費

飯田委員 戦没者追悼式の

遺族の出席者が昨年今年と減ってきていると感じる。色々な要因があるとは思いますが遺族の方の出席が計られるように日程も含め内部で検討する必要があるのではないか。

福祉課長 遺族の高齢化などの要因で年々出席者が減少している傾向にあります。が、日程については長い歴史の中で6月に開催してきている事から変更は厳しいのではないかと思います。

再質問 6月ではなく8月だとなかなかと思つて質問したわけですが、出席しやすいようにきめ細やかな対応が必要ではないか。

福祉課長 仰るとおり時期をずらせば出席できる方もいるかもしれませんが、来年の開催には遺族の方に打診をするなど内部でも検討したいと思えます。

飯田委員 高齢者運動プログラム構築委託料に1,149千円の支出があるが、詳細についてお知らせ願いたい。

福祉課長 町のオリジナル健康体操の構築を図るもの

が主となつており、大磯地区の皆様をはじめ篤泊小学校並びに各行政機関など広域的な協力を得ながら実施しました。この利尻富士町健康体操を活用しまして、介護予防はもとより町内の自治会の皆様が自主的に集まり運動機能の向上や情報交換、交流の場を提供する機能を果たすことを期待しているものであります。成果品については利尻富士町健康体操からだ、こころ、元気というDVDを100枚とパンフレットを作成しています。

【農林水産業費】

●漁業後継者対策事業

飯田委員 現在の漁業後継者対策事業の支援体制を教えて頂きたい。

産業振興課長 利尻漁業協

同組合は新規事業者の受入れから研修期間全般を通して一般的に関与しており、水産指導所は様々な情報を提供してくれています。また、離島漁業再生交付金において、今年から漁協が取得した漁船や漁具を新規漁

業者に対してリースする制度も出来ましたし、年々連携が取れて良い体制になつてきていると思えます。

再質問 就業者が住む住宅がないという話も聞くため漁業資材も含めて、すんなり漁業に従事出来る支援体制を作つて頂きたい。

産業振興課長 新規就業者を増やすうえで住居や安定した収入の確保など様々な課題がありますので、関係機関と現在検討している最中です。それらを十分に念頭におきながら取り組んでまいります。

【商工費】

●観光施設運営事業

飯田委員 ペシ岬地区散策道検討調査業務委託料1,015千円の業務内容と結果をお知らせ頂きたい。

産業振興課長 ペシ岬遊歩道周辺に新たに遊歩道を設置するために風化の状態や崩壊の危険度を把握するための調査を行いました。結果については亀裂や陥没、崩壊などが見られ、対策に億の予算がかかるというこ

とでしたので、今後進める方向では検討しております。

●観光振興事業

戸嶋委員 インバウンド対策調査業務委託料79万9,450円の内容を教えてください。

産業振興課長 今年の3月14日から17日にかけて、外国人留学生や海外エージェンツの方を招聘してモニターツアーを行った分と受入れの際に行った講習会の委託料です。

【教育費】

●体育施設管理運営事業

長岡委員 鬼脇の旭ヶ丘プールの利用状況と維持経費を教えてください。

教育委員会次長 平成26年度は大人が71名、子どもが522名の合計593名の利用があり、維持費は265万8千円となっています。（※利用者数には利尻小学校・鬼脇中学校のプール授業も含む）

再質問 旭ヶ丘プールもかなり老朽化が進み維持費も

かかってくると思うので、バスで篤泊の温泉プールへ送迎をして利用してもらう方法を考えていかなければならないのではないかと。

教育長 今年はプールを開設しましたが原因が特定出来ない漏水もあり、来年度に向けて修繕費がどれだけかかるのか検討もつかない状況となっています。今後については、小中学校のプール授業は既にスクールバスを使つて温泉プールを使つていきますので支障は無いと思えます。一般の方については維持費も考慮し地域の意見も聞きながら、存続するのか廃止にするのか相談をしながら進めてまいります。

【歳入】

●寄付金

長岡委員 寄付金12,700千円のうち、ふるさと納税はどの程度あったのか。

総務課長 1,051件で11,709千円です。

再質問 近年、金額的に横ばいだと感じるが、多額の納税を頂いている他町村と

当町の違いはどのようなものかと分析しているのか。

町長 当町の支払方法は現金振込となつて居るため、寄付をしてくれた方からクレジット決済があればもっと寄付をしてもらえるのではないかとコメントももらつて居ますのでクレジット決済導入を予定して居ます。次に、ホームページも返礼品が寄付金額によって見やすいように写真を付けて更新する予定です。

港湾整備事業特別会計

● 雑入

長岡委員 フェリーターミナルの広告料は大きな収入源だと思つたので、町長が出張の際に企業と交渉をするなど、トップセールスをしていくべきではないか。

町長 町内にも声掛けをしており、今年から町内企業1件に増えてもらいました。私の出張の際に企業と交渉をするのはやぶさかではないと思つております。

決算審査特別委員会報告書(抜粋)

平成26年度利尻富士町各会計の決算については、一般会計ほか10特別会計を併せ、歳入総額6,025,715,772円、歳出総額5,936,023,099円、翌年度へ繰越すべき財源が40,734,000円で差引額48,958,673円の実質収支となり、更には公共施設整備基金に139,000千円を積み立て、鬼脇小中併置校の施設整備をはじめとする公共施設整備や今後多額の費用を必要とする維持補修費への備えとして、堅実な財政運営を行っていることを認めます。

歳出においては、厳しい財政事情の中、町民の安全安心を確保するための災害対策や快適な生活環境の整備など、消費税増税の影響があつたにも関わらず、一般会計・特別会計を併せ679,355千円の普通建設事業費をもつて、町内景気浮揚を図つたことは、効果的で効率的な財政運営によるものであり、町理事者

の指導力が効を奏しているものと思ひます。

歳入は、税収入や各種使用料収入等の徴収に向けて各担当者がその対策にあつて居る努力は認めたいが、町税における収入未済額が前年度に比べ、3,250千円もの増額が認められるなど、次年度以降の滞納額の増額が懸念され、徴収率の向上に努めるとともに効果的な徴収体制への取組を期待するところであります。税収の源となる人口の動態をはつきりと見据え、本町の創生へとつなげることは、我々議員も議論をもう一步深めて取組まなければなりません。

「これまでとは次元の異なる大胆な政策で地域をつくる」とした政府の「総合戦略」地方創生は、我々議会と執行部が車の両輪となつて知恵をだし、地域にあつた「処方箋づくり」に取り組むことが望まれており、人口減少の歯止めとして創意工夫をこらし、成果の実現に繋げ、地方創生を深化

させることにあります。

今後は、持続可能で安定した財政基盤を確立させ、「人口減少時代の自治体経営」をしつかりと創られることを期待するとともに、決算認定制度の意義を真摯に受け止めていただき、評価検証と成果目標を定めた町民評価の高い次年度予算となることを望み審査意見といたします。

質疑・質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局にお問い合わせ下さい。



年賀の挨拶状を失礼します。

公職選挙法によって、当該選挙区内の方に対し、答礼のため自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状は禁止されておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

議員一同



定例会10月会議

【10月7日】

▽利尻小学校仮設校舎建設

工事請負契約について

契約金額 67,932千

円

契約の方法 指名競争入札

契約の相手方 利尻郡利尻

富士町鴛泊字栄町

株式会社 雨森組

代表取締役 浜塚 憲

原案可決

定例会11月会議

【11月2日】

町長より同意案が提出され、次の方々の選任・任命に同意しました。

▽固定資産評価審査委員会委員の選任について

鬼脇 字 鬼脇 上福 秀仁

氏

▽教育委員会委員の任命について

鴛泊 字 栄町 梅田 郁恵

氏

利尻富士町議会の後期構成が決まりました！

平成27年11月2日開催の定例会11月会議において、常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任を行い、新構成による利尻富士町議会が始動しました。

総務民教産建常任委員会

委員長	佐々木	勝
副委員長	米谷	篤
委員	長岡	俊裕
委員	飯田	睦穂
委員	安楽	昌弘
委員	伊藤	信勝
委員	戸嶋	郁夫

広報・広聴常任委員会

委員長	安楽	昌弘
副委員長	飯田	睦穂
委員	長岡	俊裕
委員	米谷	篤
委員	伊藤	信勝
委員	佐々木	勝
委員	戸嶋	郁夫

議会運営委員会

委員長	米谷	篤
副委員長	飯田	睦穂
委員	佐々木	勝
委員	安楽	昌弘
委員	戸嶋	郁夫

議員会

会長	伊藤	信勝
副会長	飯田	睦穂
会計監事	安楽	昌弘

常任委員会とは？

利尻富士町には2つの常任委員会があり、総務民教産建常任委員会は町政全般に関する調査、広報・広聴常任委員会は議会広報誌の編集・発行に関する事務や意見交換会に関する事務、議会傍聴に関する事務を所管しております。

議会運営委員会とは？

議会運営委員会は会期や議事日程などの議会の運営に関する協議を行う委員会です。

議員会とは？

議員の親睦及び融和を謀り、研修を行うとともに、町の進展に寄与することを目的とする会です。

議 会 日 誌

9月

- 17日 定例会9月会議（至18日）
- 30日 宗谷管内町村議会事務局長会議
（稚内市、事務局長）

- 18日 鴛泊中学校学校祭
- 25日 鴛泊保育所お遊戯会
- 30日 総務民教産建常任委員会

10月

- 4日 鬼脇保育所・利尻小学校合同学芸会
- 7日 定例会10月会議
- 8日 敬老会（鬼脇地区）
- 9日 敬老会（鴛泊地区）
- 11日 金毘羅神社例大祭
- 13日 全国離島議長会理事会・研修会（東京都、議長）
- 15日 町村議会事務研究会（至16日）
（札幌市、事務局長）

11月

- 2日 定例会11月会議
議員会総会
林活利尻富士議連総会
- 3日 利尻富士町功労者表彰式
- 10日 全国離島議長会全国大会
- 11日 全国議長会全国大会
- 14日 自民党移動政調会（稚内市、議長）
- 15日 自民党政経セミナー（稚内市、議長）

委員会報告

総務民教産建常任委員会（8月27日開催）

1 観光施設等状況調査

（1）温泉保養施設

平成26年度の年間を通しての利用者数は33,757人となっており、平成25年度と比較すると1,758人の減少で35,515人の利用となっているが、今年度の4月からの7月までの4か月と昨年度の同月を比較すると340人の増となっており、その要因は昨年の天候不順による観光客の落ち込みと、今年度の個人旅行の微増が推測される。

各所において経年劣化が見られるが、昨年度実施した現況調査をもとに計画的な補修・修繕に努められるとともに、老朽の著しい備品等については、快適な利用に配慮するため、交換等に努めて頂きサービスの向上につなげて頂きたい。

（2）カルチャーセンター・りっぷ館

施設内部は両施設とも照明が暗く、器具の入れ替えに苦慮しているようであるので、LEDの導入も視野に入れ施設環境の改善に努めて頂きたい。

また、展示物についても常設の展示とはせず、企画ものや短期間で交換するなど、分野を広げて全庁的な展示の工夫も望まれるところである。外観は建設当時の斬新なデザインと特徴的な工法で整備されているので、それらを維持するためにも、経年劣化による外壁のモルタル部分の改修も今後が必要であると思われる。

施設の有効活用と新たな体験メニューの工夫として、観光協会主催で試行的に実施されている「観光体験教室」及び「島まち歩き観光ガイド」の調査にあつては、ニーズに応える観光メニューと観光客のフェリーの待ち時間を活用した新たなサービスとして、利尻島観光を補完する取り組みであると高く評価するところであり、今後は宿泊施設や観光関連業者との協力を促し、積極的な広報により新たな観光メニューの定着を期待するところである。

広報・広聴常任委員会（9月10日開催）

（1）議会だより利尻富士No.168の編集についての調査及び協議

編集後記

戦後70年という節目の年もあと2週間を閉じようとしており、町民の皆様方におかれましては年末を控え、お忙しくお過ごしのことと存じます。

私も議会議員は平成25年11月6日の任期から2年が経過し、折り返しの時期となりました。日ごろから町民の皆様方のご指導、ご理解とご協力を賜りまして誠に感謝を申し上げますし、これからも一層気を引き締めていかなければならないと心新たにしているところでございます。

さて、世界に目を向ければテロ行為や武力衝突、更に避難民の続出などが連日のように報道されており、平和な日々がいかに大事なものと再認識しているところでもあります。新年は少しでも平和な日々が多くなることを祈るばかりです。

一方、町内においては、強風による停電や家屋等の被害もありましたが、人的な被害がなかった事が不幸中の幸いだと思えます。

平成27年11月6日から議会常任委員会の構成もかわり、新たな広報・広聴常任委員会の体制となりました。今後とも議会だよりをご高覧下さり、お気づきの点等をご指摘頂ければ幸甚に思います。

新年も除雪作業に精が出る日が多いかと思いますが、ご自愛の程ご祈念申し上げます。

利尻富士町議会

広報・広聴常任委員会一同